

奈良大宮RC

防災訓練で住民交流

大型調理システム寄贈

奈良大宮ロータリークラブ（宮西正伸会長）は、奈良市立大宮小学校（同市大

宮町4丁目）で16日、防災訓練を行い、同市消防団に炊き出し用の調理システムを寄贈した。防災訓練には、約300人の児童や地域住民らが参加し、防災の知識や住民間の交流を深めた。いつ起こるかわからない災害に備え、自治体や消防団と連携して訓練することを目的に同クラブが初めて

開催。体育館で行われた贈呈式では、迅速に100人分の調理ができる大型の調理システム「レスキューキッチン」が宮西会長から中室貞治奈良市消防団長に贈られた。

宮西会長は「災害時に地域で助け合うため、日頃の訓練が大切。能登半島地震で活躍したレスキューキッチンがお役にたてば」とあいさつ。仲川元庸奈良市長は「国の支援が間に合わない時は自分たちで命や暮らしを守らなければいけない。地域の防災のための大きな支援に感謝します」、

写真をもっと
奈良新聞デジタル



校區で行われたはしご車乗車体験＝16日、奈良市大宮町4の大宮小学校

中室団長は「高価なキッチンを寄付いただきありがとうございます。災害時は皆で協力して乗り越えたい」と感謝した。続いて心肺蘇生訓練、校庭でのはしご車乗車体験や炊き出しなどが行われた。